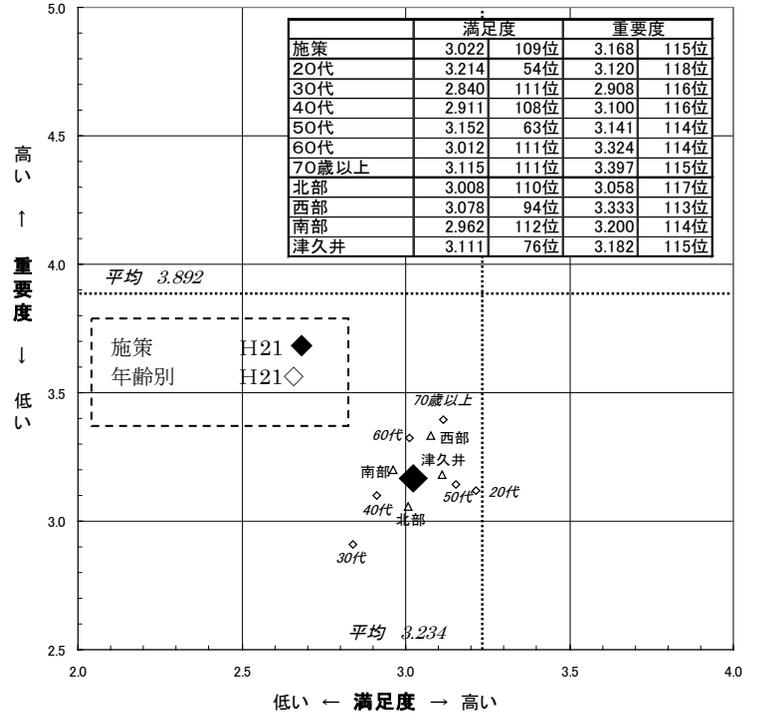




**5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)**

○この施策の満足度は3.022で全119施策の中で109番目。  
 ○重要度は3.168で115番目である。  
 ○改善要望度は-0.362で110番目である。

国際化の推進



**6 1次評価(2つの視点から評価を行う)**

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 2 1	4 2 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 1	4 2 1	
合計		9		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 A

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

**7 課題と解決策(現状または、評価結果から)**

課題	本市の外国人登録者が増加・定住化傾向にある中、今後は外国人市民も住みよいまちづくりを進めていくことが求められている。このため、今後は外国人市民に対する、よりきめ細かな支援と、まちづくりへの参画機会の充実を図る必要がある。
解決策	さがみはら国際交流ラウンジとの連携により、多言語による情報提供の充実や外国人支援ボランティアの活動支援などを通じて、更なる多文化共生社会の実現を目指す。また、現在改訂中の「さがみはら国際プラン」で検討を進めている。

**8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)**

H20改善計画書による修正等がなされていない。早急に改善計画書に則った対応をすること。 ⇒ 昨年度の3次評価の意見でご指摘をいただいた、「多文化共生の状態を示せる指標」について検討した結果、本市の国際交流の拠点としての機能を担う、さがみはら国際交流ラウンジの活動状況(利用状況)を指標の第一順位とすることが、妥当であると判断した。 これは、国際交流ラウンジの活動内容が、通訳ボランティアの派遣や多言語による情報提供、ボランティアによる外国人相談、日本語教室などの外国人への支援、また、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国語講座など、国際理解を深めるための活動を行っており、本市の多文化共生の状態が指標として示せる、最も適した事項であると判断したことによるもの。 また、本市の多文化共生を推進していくため、現在さがみはら国際プランを改定中(平成22年3月完成)であり、今後はこのプランに基づき、国際交流ラウンジの機能充実など本市の国際化施策を推進していく。	2次評価 A
---	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

**9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)**

友好親善だけではなく、実利の伴う国際交流について検討し、構成事務事業の見直しを検討されたい。	3次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向